

第6回経営者検定試験より抜粋

「情報管理」

[問題 1]

情報戦略の今日的な位置づけについて、次の文章の空欄①②③に当てはまるものの最も適切な組み合わせをA B C Dの中から選択せよ。

情報戦略は、 ① に直結し、企業の成長と ② 確保のために、どのように ③ を活用するかを決定していくものである。

- A ①：企業経営 ②：従業員 ③：情報技術
- B ①：企業価値 ②：競争優位 ③：ユーザーサポート
- C ①：経営戦略 ②：開発費用 ③：経営資源
- D ①：経営戦略 ②：競争優位 ③：情報技術

[問題 2]

T C Oの抑制のため、アウトソーシングが有効策として期待されている。アウトソーシングに関する説明として、最も適切なものをA B C Dの中から選択せよ。

- A アウトソーシングには、企業秘密の保持という観点から人事・経理といった間接業務は含まれない。
- B アウトソーシングでは、S Eやプログラマなど人的資源を外部委託することは、アウトソーシングに含まれない。
- C アウトソーシングとは、自社の業務や機能の一部を資本関係のある企業に委託することである。
- D アウトソーシングを発展させた外注形態として、B P Oがある。

[問題 3]

自社のホームページを効果的な営業ツールとして利用するためには、単に見栄えの良いページを作成するだけでなく、いくつかの注意点がある。最も適切なものをA B C Dの中から選択せよ。

- A セキュリティを確保するため、自社内にサーバーを設置し運用すること。
- B ホームページの更新をこまめに行い、魅力的なページを提供すること。
- C コメントやトラックバックに対して迅速に反応すること。
- D セキュリティを確保するため、検索サイトの結果に表示されないようにすること。

[問題 4]

商品を販売するネットショップのサイトを構築するうえで必要な機能について、最も適切な組み合わせをA B C Dの中から選択せよ。

- ① 受注機能
- ② 現在最高入札価格表示機能
- ③ 商品紹介機能
- ④ ブログ連携機能
- ⑤ 在庫数量表示機能
- ⑥ 代金回収機能

- A ①と②と③
- B ①と③と⑥
- C ②と④と⑤
- D ③と④と⑥

[問題 5]

情報化戦略の位置づけについて、次の文章の空欄①②③に当てはまるものの最も適切な組み合わせをA B C Dの中から選択せよ。

情報戦略とは、経営戦略の一部として情報に関連する資源を獲得・配分し、情報を活用していく戦略である。コンピュータシステムが導入された当時は、いかに現場の①を進めていくかが情報戦略の中心であったが、②の変化、ITの急速な発展により、現在では、情報戦略は、経営戦略に直結し、企業の成長と③のため、どのように情報技術を活用するかを決定していくものとなっている。

- | | | | |
|---|----------|--------|----------|
| A | ①：高付加価値化 | ②：作業手順 | ③：更なる効率化 |
| B | ①：高付加価値化 | ②：経営環境 | ③：更なる効率化 |
| C | ①：効率化 | ②：作業手順 | ③：競争優位確保 |
| D | ①：効率化 | ②：経営環境 | ③：競争優位確保 |

[問題 6]

エンタープライズアーキテクチャの採用により、統一的な全社の情報システムが構築できるようになると言われている。エンタープライズアーキテクチャに関する説明として、最も適切なものをA B C Dの中から選択せよ。

- A まず全社的に最適な業務プロセスを設計してから、その業務プロセスに基づいた情報システムを導入する
- B 経営戦略との関連性を高め、部分最適により効率的な企業経営を目指す
- C ボトムアップによる業務プロセスの改善を実行する
- D 全社ネットワークの導入により、情報共有の活性化を図る

[問題 7]

企業が取るべきセキュリティ対策として、最も適切なものはどれか、A B C Dの中から選択せよ。

- A 先ず技術的な対策を万全に行い、次に従業員への教育はじっくり時間をかけて行うべきである
- B 不正検知ツールを導入することで、セキュリティは万全である
- C ファイヤーウォールには、パケットフィルタリング機能を持つものや、プロキシ機能を持つものなどがある
- D セキュリティログを取得し保存するか、または監視する必要がある

[問題 8]

個人情報保護法について述べたものとして、最も不適切なものをA B C Dの中から選択せよ。

- A 携帯電話の番号は個人情報である
- B 500件を超える個人情報を事業に用いている事業者は個人情報取扱事業者である
- C 他の情報と容易に照合することによって特定の個人を識別することができる情報も個人情報に含まれる
- D 亡くなった方の病歴は個人情報とはいえない

[問題 9]

データ分析の一つにA B C分析がある。以下の商品別売上高の表を基にA B C分析を行うと販売促進の対象となるA群商品の品目数はいくつになるか、A B C Dの中から選択せよ。ただし、A群は80%を目安としている。

商品 a	商品 b	商品 c	商品 d	商品 e	商品 f	商品 g	商品 h
50	400	170	230	30	60	50	10

- A 1品目
- B 2品目
- C 3品目
- D 4品目

[問題 10]

S E O (Search Engine Optimization) の説明として、最も適切なものをA B C Dの中から選択せよ。

- A 消費者の嗜好やニーズ、購買履歴などに合わせて、1人1人個別に展開されるマーケティング活動のこと
- B 検索サイトの検索結果のページの表示順の上位に、自らのWEBサイトが表示されるように工夫すること
- C 検索エンジンから自社WEBサイトへの訪問者を増やすマーケティング手法
- D WEBサイトに広告の画像を貼り、広告主のWEBサイトにリンクする手法

解答「情報管理」

[問題 1] D

[問題 2] D

アウトソーシングの対象となる業務に制限はなく、人事・経理・総務といった間接業務のみならず、製造・営業といった基幹業務までも対象になる。また、アウトソースは、システムを外部委託するだけでなく、SEなどの人的資源を外部委託することも含まれる。なお、システムだけでなく業務の遂行も含めて外部委託することをBPOと呼び、アウトソーシングの発展形態と定義される。

[問題 3] B

社内にサーバーを設置するよりも、データセンターに預けるかレンタルサーバーを利用したほうがセキュリティレベルが上となる。コメントやトラックバックの機能は、ブログに関する機能である。ホームページの更新をこまめに行うことで、魅力的なページとし、定期的にアクセスするユーザーが確保できるようになる。また、検索サイトの結果で上位に表示されるように工夫することも重要である。

[問題 4] B

現在最高入札価格表示機能はオークション用の機能であり、ブログ連携機能や在庫数量表示機能があれば便利であるが、必要な機能とは言えない。

[問題 5] D

[問題 6] A

EAとは、業務ごとにバラバラに導入、構築されていた企業内の各情報システムを、企業の経営戦略との関連性を高め、標準化、最適化を進めることで効率的な企業経営を行うという設計思想である。よって、個別のシステムからのボトムアップではなく、全体最適を指向し、経営戦略との整合性を重視する。

[問題 7] C

技術的な対策に万全はない、また、従業員への教育や意識向上は同時に行なっていく必要があるので、Aは不適切である。また、Bもツールの導入だけでなく、適切な運用体制の構築も必要であるため不適切である。Dは、セキュリティログを取得し保存しつつ、監視することにより効果が高まるので、不適切である。よって、Cが適切である。

[問題 8] B

個人情報保護法では「個人情報が数の合計が過去六月以内のいずれの日においても五千を超えない者」は対象外となる。

[問題 9] C

商品売上高の合計は1,000である。

$50+400+170+230+30+60+50+10=1,000$

A群となる80%の商品数は800となる。

売上高上位の商品を800になるまで、足しあわせていくと、b/c/dを合計すると800であるため、A群の対象は4品目となる。よって、正解はCとなる。

[問題 10] B

AはONETOONEマーケティング、CはSEM (Search Engine Marketing)、Dはバナー広告の説明である。従ってBが正解である。